

地方公共団体名	東京都杉並区
所属部局	環境部環境課計画推進係
現状・実施したい脱炭素施策	本区では、2030年度のカーボンハーフ実現を目指し、各種施策を推進しているが、目標達成に向けてはさらなる取組の強化が求められている。こうした状況を踏まえ、既存施策の見直しとともに、新たな施策の展開を進めていく必要がある。 これまでも創エネルギー・省エネルギー対策を実施してきたが、2030年カーボンハーフの実現に向けては、区による取組だけでなく、区内事業者や区民と一体となった取組の推進が不可欠である。そのため、区が率先して脱炭素につながる行動を実践し、その取組を広く発信することで、区内全体の機運醸成を図り、具体的な行動の拡大につなげていきたい。 特に、新たな取組として、再生可能エネルギーの地産地消や区立施設を活用したPPA事業など、民間事業者との連携によるエネルギーの地産地消を推進し、区域全体での温室効果ガス排出量の削減に向けた取組を進めていきたいと考えている。
脱炭素施策の実施によって地域にもたらしたい脱炭素以外のメリット・地域裨益・ありたい未来（ビジョン）	● コスト削減、エネルギー代金削減 ● 健康・福祉等への貢献 ● 地域経済の活性化・循環型共生圏づくり ● 地域の魅力の向上・地域課題解決 ● 防災・レジリエンス向上 ○ その他
上記内容の概要	脱炭素を進めていくに当たっては、様々な社会変革を伴うものであり、上記のようなメリットをできる限り包含させて実施していくことが重要であると認識している。例えば、区内における再エネの普及促進を各住宅・事業所や区立施設で進めることで、エネルギーコスト削減や災害時におけるレジリエンスの向上などにつなげていく。また、住宅の断熱化等の省エネルギー対策を通じて、土建組合等の区内事業者の事業機会を創出するとともに区民の健康にも資する質の高い住環境の提供を進めていく。このような取組を通して、環境・経済・暮らしの質が好循環する持続可能な地域の実現を目指したい。
マッチングを望む分野	高 ← 優先度 → 低 1 地域新電力・地域エネルギー会社 4 マイクログリッド・VPP 2 住宅・民間への太陽光発電普及 5 3 公共施設での太陽光発電 その他 :
マッチング企業と取り組みたい事業	・ 区立施設でのPPA事業（特に屋根貸し） ・ 再生可能エネルギーの地産地消に向けた事業